

『社会学研究』第23号(1963年11月20日刊)

論説

- ・「社会的役割概念の再検討 構造分析の立場から」(佐藤勉)
- ・「現代産業社会における組織理論の把握のために」(松本和良)
- ・「経営の合理化・官僚制化と労使関係 グールドナーによる「山ねコスト」の分析を中心として」(羽田新)

シンポジウム・社会学における方法論的統合の問題をめぐって

- ・「はじめに」(対馬貞夫)
- ・「巨視的分析の立場における基礎的問題点 ミクロ研究を正しく位置づけるために」(守屋孝彦)
- ・「スモールグループ研究の意義と限界」(雪江美久)
- ・「方法論的個人主義の制度分析における問題点」(佐藤嘉一)